

令和5年度

東北大学大学院 情報科学研究科

博士課程前期2年の課程
下期 学生募集要項
(令和5年4月入学)

試験日程

【日程Ⅰ】令和5年2月 4日(土)～2月 5日(日)

【日程Ⅱ】令和5年2月28日(火)～3月 2日(木)

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、急な変更もあり得ますので、本研究科の入試関連ウェブページに注意してください。

令和4年11月

令和5年度
東北大学大学院情報科学研究科
博士課程前期2年の課程学生募集要項
(令和5年4月入学)

試験日程 【日程Ⅰ】(1, 5, 6, 7群) : 令和5年2月 4日(土) ~ 2月 5日(日)
【日程Ⅱ】(2, 3, 4群) : 令和5年2月 28日(火) ~ 3月 2日(木)

令和4年11月

アドミッション・ポリシー

東北大学大学院情報科学研究科は、情報科学に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える学際性並びに数理科学的・社会科学的基礎を有し、社会のニーズを敏感に察知するとともに、自ら問題を発見し、実世界データサイエンスに関する諸問題の解決を文理融合の立場から具体的に推進しうる研究者、高度職業人の育成を目指します。本研究科が目指す新しい“情報科学”の創造に貢献できる人を育てるため、本研究科が培ってきた成果をさらに推し進めようとする学生、いくつかの分野にまたがった研究を積極的に進めようとする学生、すでに学んだところとは異なる分野の研究を志す学生、また、多様なバックグラウンドを有する外国人留学生や社会人などの受け入れを推進します。

具体的には、学際性並びに数理的基礎に支えられた専門的知識と技能をもって社会に貢献しうる高度職業人、さらには、学際科学の新たな発展に貢献する研究者を志す人を求めます。

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、早期卒業生選抜、社会人選抜、外国人留学生等選抜及び推薦入学特別選抜の区分を設けて入学試験を実施し、これらの教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。選抜は、研究科内の学術的専門性により7つの群に分けて行い、それぞれの群で、博士課程前期2年の課程、博士課程後期3年の課程のそれぞれにおいて、その特性に合わせて筆答試験、小論文、口述試験の中から適切な選抜方法を選択して設定することで行います。

(博士課程前期2年の課程)

一般選抜、早期卒業生選抜、外国人留学生等選抜では、専門的知識とその展開力を評価する筆答試験及び研究計画と研究意欲等に基づく口述試験等を行い、特に基礎学力を重視して選抜を行います。

社会人選抜では、社会人としての業務歴又は研究内容、基礎学力の評価等を総合的に重視して選抜を行います。

推薦入学特別選抜では、論理的思考力と文章表現力、研究計画と研究意欲等を評価し、特に論理的思考力を重視して選抜を行います。

なお、入学前に、専攻しようとする分野とその隣接分野に関して学部までに習得しておくべき基礎知識と、研究成果の発表を計画的に準備するために必要な技能を身につけておくことを希望します。

博士課程（後期）学生支援事業について

情報科学研究科は平成18年度から、専門性に優れた大学院学生を経済的に支援し、学習環境を整備することを目的とした博士課程（後期）学生支援事業を導入しています。

<詳しいことは、情報科学研究科教務係までお問合せください。>

1. 募集する専攻及び選抜区分

| 専攻 | 募集人員 | | | |
|------------|--------------|---------------------|---------------|-----------------------|
| | 一般選抜 (注1) | 早期卒業生 選抜 (注2) | 社会人選抜 (注3) | 外国人留学生等 選抜 (注4) |
| 情報基礎科学専攻 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| システム情報科学専攻 | | | | |
| 人間社会情報科学専攻 | | | | |
| 応用情報科学専攻 | | | | |

(注1) p.7～p.9に記載の研究室番号の内、括弧書きの研究室(分野)の募集は、下記のいずれかに該当する者を対象として行います。

- ・ 2. 出願資格の(9)、(10)に該当する者
- ・ 2. 出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当し、4. 選抜方法 1)に記載の受験方法(1)、(2)又は(3)により受験を希望する者(p.8参照)

(注2) 早期卒業制度による卒業者を対象とする選抜に出願できる者は、3年以上4年未満の在学をもって卒業を認められ、2. 出願資格(1)に該当する者

(注3) 社会人選抜に出願できる者は、社会人(注5)であって、原則として2年以上の勤務歴を有し、2. 出願資格のいずれかに該当する者(p.9参照)

(注4) 外国人留学生等選抜に出願できる者は、外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者(これらを「外国人留学生等」と総称する。)で2. 出願資格のいずれかに該当する者

(注5) ここでいう社会人とは、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として経験を有する者である。また、職歴がない場合にも、社会人となる場合があるので、情報科学研究科教務係に問い合わせること。

(注6) 社会人及び外国人留学生等は、選抜区分に関わらず、事前に必ず配属を希望する研究室(分野)の受入れ予定教員に照会し、入学後の研究計画等について、確認を受けてください。

2. 出願資格

入学志願者として出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 大学を卒業した者(令和5年3月までに卒業見込みの者を含む。)
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者(令和5年3月までに学士の学位を授与される見込みの者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(令和5年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(令和5年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(令和5年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(令和5年3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者を含む)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日

以後に修了した者（令和5年3月までに修了見込みの者を含む。）

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法（以下「法」）第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月末日までに22歳に達するもの

(注7) 法第102条第2項及び本学大学院通則第11条第9号に定める「大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの」に関する出願資格については、適用しません。

(注8) 出願資格(6)によって出願しようとする者は、事前に情報科学研究科教務係に問合せください。

(注9) 出願資格(9)又は(10)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ情報科学研究科教務係に照会し、本研究科が指定する書類を令和4年11月18日（金）までに提出してください。

3. オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは、次のとおりです。

1 募集要項の確認・必要書類の取得



- ・本募集要項で、出願資格（1～2ページ）や提出書類（4～7ページ）等をよく確認してください。
- ・提出書類のうち「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

2 検定料の支払い



- ・本募集要項5ページの指示に従い、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用のうえ、指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（出願者負担）。
- ・振込後、ATMの利用明細（写）、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付けてください。

【注】出願登録、検定料の納入だけでは、出願したことになりません。

3 TAO 出願登録サイトで出願登録



- ・The Admissions Office のウェブサイトアクセスし、アカウント作成後、出願者の情報等の必要事項を入力してください。<https://admissions-office.net/>
- ・提出書類（4～7ページ）のうち、アップロード書類を登録してください。
- ・登録後は、登録した内容は変更できません。登録するときは、誤りのないように確認しながら慎重に行ってください。
- ・一時保存の機能がありますので、確認などに有効に利用してください。
- ・出願が完了すると、「出願完了のお知らせ」がメールに届きます。

4 出願書類の発送

一般選抜および社会人選抜・外国人留学生等選抜（1月13日（金）必着）
早期卒業制度による卒業者を対象とする選抜（1月20日（金）必着）



- ・提出書類（4～7ページ）のうち、郵送書類を「速達・簡易書留」で郵送してください。募集要項に記載された期日までに到着しない場合、出願は受け付けませんので、注意してください。

出願手続は、検定料の納入を経て、インターネット上での出願情報の登録、出願期間内に必要な出願書類を速達・簡易書留郵便で本学に発送（期間内必着）することで完了します。

検定料の納入及びインターネット上での出願情報の登録だけでは出願手続が完了しませんので注意してください。

志願者は、指定のオンライン出願システム The Admissions Office（以降、TAO システムと表記します。）を使って下記の手順に従い、出願期間内に申請手続きを行ってください。

【方法】

1. 下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が出ますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。
<https://admissions-office.net/portal>
2. アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューを利用し「東北大学/情報科学研究科」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。
3. 出願に必要な書類は、以下の表のとおりです。TAO システムに入力またはアップロードする書類（A）と郵送で提出する書類（B）がありますので注意してください。なお、TAO システムへのアップロードの際に使用できるデータは、PDF ファイルまたは画像ファイル（png, jpg, jpeg 形式）に限ります。

【出願期間】

○一般選抜および社会人選抜・外国人留学生等選抜

(A) TAO システムでの出願期間

令和5年1月4日（水）9：00から1月13日（金）23：59（日本時間）まで

(B) 郵送提出書類の受付期間

受付期間：令和5年1月4日（水）から1月13日（金）まで（受付期間最終日必着）

郵 送 先：東北大学情報科学研究科教務係

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

○早期卒業制度による卒業者を対象とする選抜

(A) TAO システムでの出願期間

令和5年1月13日（金）9：00から1月20日（金）23：59（日本時間）まで

(B) 郵送提出書類の受付期間

受付期間：令和5年1月13日（金）から1月20日（金）まで（受付期間最終日必着）

郵 送 先：東北大学情報科学研究科教務係

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

○すべての選抜に共通する事項

- ・ 郵送提出書類は、以下の表「No.9 郵送書類提出用封筒」に同封のうえ、速達・簡易書留郵便で郵送してください。
- ・ 窓口で提出する場合は、以下の表「No.9 郵送書類提出用封筒」に同封のうえ、上記受付場所に設置の出願書類受付用ボックス（受付時間：土・日曜日及び祝日を除く午前9時から午後4時30分まで）に提出してください。

| No. | 提出書類等 | 摘 要 | 提出方法 |
|-----|-----------|---|------|
| 1 | 入学願書及び履歴書 | TAO システムの入学願書フォームに必要事項を入力してください。 | A |
| 2 | 配属希望調書 | TAO システムの配属希望調書フォームに必要事項を入力してください。 | A |
| 3 | 写 真 票 | 下記 URL から所定の写真票ファイルをダウンロードしてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html （写真票に上半身無帽像で3か月以内に撮影した写真1枚を貼ること。） | A |

| | | | |
|---|---|--|---|
| 4 | 卒業（見込）証明書 又は 学位授与（見込）証明書 若しくは 学位授与申請（予定）証明書及び修了（見込）証明書 | 出身大学の学長又は学部長の発行する卒業（見込）証明書、又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書、若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書及び最終出身学校等の長の発行する修了（見込）証明書 | B |
| 5 | 成績証明書 | 出身大学の学長又は学部長、又は最終出身学校等の長が発行したもの。高等専門学校専攻科に在籍している者は、学科在籍期間の成績証明書も提出してください。 | B |
| 6 | TOEFL®Test 又は TOEIC®Test スコアシートの 原本 (注10) | 情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）、言語・メディア群（5群）、心理・哲学群（6群）及び社会科学群（7群）の一般選抜、早期卒業生選抜及び外国人留学生等選抜の志願者は、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test スコアシートの原本を提出。選抜試験初日から過去2年以内に受験したもの。 | B |
| 7 | 検 定 料 30,000円を 1月12日(木)まで (早期卒業生選抜志願者は1月19日(木)まで)に右記により支払いのうえ、「検定料納付確認書」を提出すること。 | ①下記URLから所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html ②検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入し、ATMの利用明細(写)又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピー(振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの)を検定料納付確認書に貼り付けてください。 ※振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名としてください。 ※振込手数料については、志願者本人負担となります。 金額：30,000円 納入期限：1月12日(木)（早期卒業生選抜志願者は1月19日(木)）【期限厳守】 銀行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259391 口座名義：国立大学法人東北大学 カナ：ダイトホクダガク | A |
| 8 | 住民票（在留資格が明記されたもの） | 日本に在留する外国人（在留期間が90日を超える者）のみ提出。市区町村長の発行のもので3か月以内に発行されたもの。 | B |
| 9 | 郵送書類提出用封筒 | 市販の角形2号封筒（約24cm×約33cm）を準備のうえ、下記URLから所定のあて名票ファイルをダウンロードし、必要事項を記入・カラー印刷のうえ、封筒の表に貼り付けてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html | B |

| | | | |
|----|-------|--|--------------|
| 10 | そ の 他 | 1) 学力を表す論文・報告書等がある場合は提出すること。なお、言語・メディア群（5群）を志望する者（社会人選抜志願者を除く）は、研究計画書（A4判用紙2枚程度）、および、卒業論文（提出予定のものを含む）の写しを提出のこと（日本語あるいは英語以外の言語で書かれたものについては、日本語あるいは英語で書かれた要旨を合わせて提出のこと）。卒業論文に代えて研究論文（日本語の場合10,000字程度、英語の場合A4判用紙10枚程度）を提出しても構わない。 | A 又は B |
| | | 2) 社会人（注5）または外国人留学生等（注4）が一般選抜へ出願する場合は、受入れ予定教員が作成した「確認書（研究計画等を確認していることを記したものの、様式任意）」を提出すること。 | A |

提出方法（A）TAOシステムに入力またはアップロードする書類
（B）郵送で提出する書類

TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーショナル・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

（注10）TOEFL iBT® Test、TOEFL® PBT Test および TOEIC®公開 Test のいずれかの試験の成績を採用します。団体受験用の TOEFL ITP® Test および TOEIC® IP Test は認めません。タイプの異なる複数の試験のスコアを提出することもできます。出願時（願書受付期間最終日まで）に提出しない者は、英語の評価は0点とします。TOEFL iBT® Test については、Test Date スコアのみを出願スコアとして利用します。（MyBest™スコアは利用しません）

なお、提出が必要な志願者は次のとおりです。詳細は、p.12～p.15（日程Ⅰ）及び p.17～p.22（日程Ⅱ）を参照してください。

- ・ 情報・生命系群（2群）、機械・知能系群（3群）、土木工学群（4群）、言語・メディア群（5群）、心理・哲学群（6群）、社会科学群（7群）：一般選抜、早期卒業生選抜及び外国人留学生等選抜の志願者

ただし、2群、3群、5群、6群及び7群については、英語を母語とする志願者は願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せしてください。

◎ 社会人選抜及び外国人留学生等選抜の志願者は、上記書類のほか、それぞれ次の書類を提出してください。

[社会人選抜志願者]

| No. | 提出書類等 | 摘 要 | 提出方法 |
|-----|-----------|---|--------------|
| 1 | 受 験 許 可 書 | 有職者は、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。 | A |
| 2 | 在 職 証 明 書 | 在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。 | A |
| 3 | 受 入 承 諾 書 | 受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの（様式任意）。 | A |
| 4 | 志 願 理 由 書 | 関心をもつ分野、研究計画、将来の目標等（A4判用紙に記載したもの） | A |
| 5 | 卒 業 論 文 等 | 卒業論文、大学等における研究内容又は勤務先での業務内容等（A4判用紙に記載したもの） | A 又は B |

[外国人留学生等選抜志願者]

| No. | 提出書類等 | 摘 要 | 提出方法 |
|-----|-----------|-------------------------------|------|
| 1 | 受 入 承 諾 書 | 受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの（様式任意）。 | A |

| | | | |
|---|-------------|--|---|
| 2 | 推薦書 | 出身大学の指導教員またはそれに準ずる者が作成した推薦書（様式任意）。ただし、日本国内の大学等を卒業した者又は令和5年3月までに卒業見込みの者は、提出する必要はない。 | A |
| 3 | 国費外国人留学生証明書 | 他大学に在籍している国費外国人留学生のみ（在籍大学の発行する証明書） | B |
| 4 | 受験許可書 | 有職者は、所属長の発行したもの。（社印等のあるもの・様式任意）。 | A |

提出方法 (A) TAOシステムにアップロードする書類

(B) 郵送で提出する書類

4. 選抜方法

入学者の選抜は、原則として、筆答試験（社会人選抜は小論文等）、口述試験、成績証明書及びその他の提出書類を総合して判断します。

ただし、筆答試験、小論文試験を実施しない群もありますので、p.12～p.23の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を確認してください。

1) 一般選抜

志願者は、「研究室（分野）一覧」（p.24～p.26）及び本研究科ウェブサイト（<https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>）を参照して配属希望順位1位の研究室（分野）を選択し、その研究室（分野）の専門試験科目群の筆答試験と口述試験を受験してください。（※印参照）（筆答試験を実施しない群もあります。）

群番号、研究室番号及び専攻の対応は、表-1のとおりです。

また、各専門試験科目群の試験内容は、p.12～p.13（日程Ⅰ）及びp.17～p.18（日程Ⅱ）に記載のとおりです。

表-1

| 専門試験科目群 | | 研究室番号 | 専攻 |
|---------|-------------|---|------------|
| 群番号 | 名称 | | |
| 1 | 数 学 群 | A01-1, A01-2, A02-1, A02-2, A03, A04 | 情報基礎科学専攻 |
| | | B01-1, B01-2, B02-1, B02-2, B03 | システム情報科学専攻 |
| 2 | 情報・生命系群 | (A05), (A07), (A08), (A09), (A10), A11, A13, A14, A16, (A17), A18 | 情報基礎科学専攻 |
| | | B04, (B05), (B06), B07, B08, B11, B12, (B13), (B15), (B16) | システム情報科学専攻 |
| | | (D01), (D02), D04, (D05), (D07), (D08-1), (D08-2), D10, D11, D12 | 応用情報科学専攻 |
| 3 | 機械・知能系群 | A06-1, A06-2, A12-1, A12-2, A15-1, A15-2, A19-1, A19-2 | 情報基礎科学専攻 |
| | | B09, B10-1, B10-2, B14 | システム情報科学専攻 |
| | | D03-1, D03-2, D03-3, D09-1, D09-2 | 応用情報科学専攻 |
| 4 | 土 木 工 学 群 | C11-1, C11-2, C12-1, C12-2, C13-1, C13-2 | 人間社会情報科学専攻 |
| 5 | 言語・メディア群 | C01, C06, C14, C15 | 人間社会情報科学専攻 |
| 6 | 心 理 ・ 哲 学 群 | C02, C03, C04, C05, C16 | 人間社会情報科学専攻 |
| | | D06 | 応用情報科学専攻 |
| 7 | 社 会 科 学 群 | C07, C08, C09, C10 | 人間社会情報科学専攻 |

(注11) 括弧書きの研究室(分野)については、p.1(注1)を参照してください。

※前記のほか、下記のような受験方法を選択することができます。

受験方法(1) 筆答試験については、他の専門試験科目群で受ける。(受験方法(1)を選択しようとしている理由によっては、この方法による受験が許可されない場合もあります。)

- ・試験日程Ⅰに属する群(1, 5, 6, 7群)の志願者は、筆答試験受験群として試験日程Ⅱに属する群(2, 3, 4群)を選択することはできません。
同様に、試験日程Ⅱに属する群(2, 3, 4群)の志願者は、筆答試験受験群として試験日程Ⅰに属する群(1, 5, 6, 7群)を選択することはできません。
- ・数学群(1群)は筆答試験を実施しないため、筆答試験受験群として数学群を選択することはできません。また、数学群の入学志願者は、この受験方法を選択することはできません。
- ・言語・メディア群(5群)は筆答試験(専門科目)を実施しないため、筆答試験受験群として言語・メディア群を選択することはできません。また、言語・メディア群の入学志願者は、この受験方法を選択することはできません。

受験方法(2) 筆答試験については、本研究科の専門試験科目群にない科目によって受ける。(科目によっては応じられないこともあります。)

受験方法(3) 上記の筆答試験・口述試験に代えて、自分のバックグラウンドに関連した試験(筆答試験、小論文、口頭試問、外国語科目(英語)等)を受ける。(事前の書類審査によっては、この方法による受験が許可されない場合もあります。)

これらの受験方法を希望する者は、令和4年11月18日(金)までに、必ず情報科学研究科教務係及び配属を希望する研究室(分野)の受入れ予定教員に問い合わせてください。

2) 早期卒業生選抜及び外国人留学生等選抜

志願者は、「研究室(分野)一覧」(p.24～p.26)及び本研究科ウェブサイト(<https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>)を参照して配属希望順位1位の研究室(分野)を選択し、その研究室(分野)の専門試験科目群の筆答試験と口述試験を受験してください。(※印参照)(筆答試験を実施しない群もあります。)

群番号、研究室番号及び専攻の対応は、表-2のとおりです。

また、各専門試験科目群の試験内容は、p.12～p.15(日程Ⅰ)及びp.19～p.22(日程Ⅱ)に記載のとおりです。

表-2

| 専門試験科目群 | | 研究室番号 | 専攻 |
|---------|---------|---|------------|
| 群番号 | 名称 | | |
| 1 | 数 学 群 | A01-1, A01-2, A02-1, A02-2, A03, A04 | 情報基礎科学専攻 |
| | | B01-1, B01-2, B02-1, B02-2, B03 | システム情報科学専攻 |
| 2 | 情報・生命系群 | A05, A07, A08, A09, A10, A11, A13, A14, A16, A17, A18 | 情報基礎科学専攻 |
| | | B04, B05, B06, B07, B08, B11, B12, B13, B15, B16 | システム情報科学専攻 |
| | | D01, D02, D04, D05, D07, D08-1, D08-2, D10, D11, D12 | 応用情報科学専攻 |

| | | | |
|---|----------|---|------------|
| 3 | 機械・知能系群 | A06-1, A06-2, A12-1, A12-2, A15-1, A15-2, A19-1, A19-2 | 情報基礎科学専攻 |
| | | B09, B10-1, B10-2, B14 | システム情報科学専攻 |
| | | D03-1, D03-2, D03-3, D09-1, D09-2 | 応用情報科学専攻 |
| 4 | 土木工学群 | C11-1, C11-2, C12-1, C12-2, C13-1, C13-2 | 人間社会情報科学専攻 |
| 5 | 言語・メディア群 | C01, C06, C14, C15 | 人間社会情報科学専攻 |
| 6 | 心理・哲学群 | C02, C03, C04, C05, C16 | 人間社会情報科学専攻 |
| | | D06 | 応用情報科学専攻 |
| 7 | 社会科学群 | C07, C08, C09, C10 | 人間社会情報科学専攻 |

3) 社会人選抜

社会人選抜は、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として、原則として2年以上勤務した経験がある者を対象とします。社会人が職場での経験を勉学・研究に生かすとともに、さらにその知識・技術をリフレッシュし、あるいは新たな分野の知識・技術を修得し、創造的能力を発展させることを目的としています。

選抜に当たっては、原則として小論文、口述試験及び提出書類の審査によって社会人としての業務歴又は研究内容、基礎学力の評価等を総合的に判断します。(小論文試験を実施しない群もあります。) また、専攻しようとする研究分野とこれまでの業務歴・研究歴との関係を重視します。

各専門試験科目群の試験内容は、**p. 16 (日程Ⅰ)** 及び **p. 23 (日程Ⅱ)** に記載のとおりです。

5. 試験日程及び試験会場

(1) 選抜試験日程

日程Ⅰにおいては令和5年2月4日(土)から2月5日(日)までの間に、
日程Ⅱにおいては令和5年2月28日(火)から3月2日(木)までの間に、
p. 12~p. 23 の日程により、専門試験科目群ごとに行います。

(2) 試験会場及び試験日時

試験会場及び詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

試験日時等については、後掲 (**p. 12~P. 23**) の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を参照してください。

6. 合格者の発表

日程Ⅰにおいては令和5年2月10日(金)午後5時頃に、
日程Ⅱにおいては令和5年3月10日(金)午後5時頃に、
合格者の受験記号番号を本研究科ウェブサイト (<https://www.is.tohoku.ac.jp/>)
に掲載し、合格者に対しては、後日 TAO システムにより合格通知書を送付します。

7. 長期履修学生制度の適用

本研究科では、職業を有している等の事情(注12)によって、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する(注13)ことを願い出た者については、審査の上、許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といいます。

この制度に関する照会は随時受け付けますが、適用申請方法等については、合格者発表後に送付する入学手続に関する書類で通知します。

- (注12) 該当者： ①企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者
②出産、育児、介護等を行う必要のある者
③その他、本研究科が適当と認める者

(注13) 在学年限は4年を超えることはできません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出ることとはできます。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意はしません。

8. 入 学 手 続

合格者には、入学手続の案内を郵送します。

9. 必 要 経 費

- (1) 入 学 料 282,000 円 (予定額)
- (2) 授業料前期分 267,900 円 <年額 535,800 円> (予定額)

(注14) 東北大学在学中の授業料は、指定銀行の預金口座からの自動引落しにより、大学に納付していただくこととなります。なお、上記の納付金額は予定額であり、授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新授業料等が適用されます。

(注15) 入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、入学手続に関する書類でお知らせします。

10. 注 意 事 項

- (1) 出願後は、出願取下げ、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類及び検定料は返付しません。
- (2) 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 受験票は、TAO システムからダウンロードしてください。試験日10日前になってもダウンロードできない場合は、情報科学研究科教務係に問い合わせてください。
- (4) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書を提出してください。申出書の様式は情報科学研究科教務係に問い合わせてください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

*相談の期限：令和4年11月18日（金）まで

*申出書に記載する内容

- ① 相談者の氏名・住所・電話番号
 - ② 出身大学等
 - ③ 受験上配慮を希望する事項
 - ④ 修学上配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）
- (5) 令和5年度東北大学大学院情報科学研究科の入学試験を受験した方に対して、入学試験成績の開示をいたします。希望する方は、情報科学研究科教務係に手続等について照会してください。申請は、受験者本人からの開示請求（所定の申請書）があったものに限ります。
 - (6) 個人情報の取り扱いについて
 - ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
 - ② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等）、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究（入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。）に利用します。
 - ③ 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。
 - (7) 教育・学習データ利活用について
本学では、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下、「教育・学習データ」という。）を最新のデータ解析やAI技術を用いて分析

し、エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。

そのため、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、教育・学習データを有効かつ適正に利活用し、本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL : <https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

- (8) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

令和4年11月

東北大学大学院情報科学研究科

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

電話 (022) 795-5814

e-mail: is-kyom@grp.tohoku.ac.jp

<https://www.is.tohoku.ac.jp/>

10月入学制度について

一般、社会人、外国人留学生等入学志願者に対する10月入学制度についての募集要項は、その他の学生募集要項とともに、令和5年6月上旬に発表する予定です。

専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容

【日程 I】：令和 5 年 2 月 4 日（土）～ 2 月 5 日（日）

【日程 I】
令和 5 年 4 月
前期 2 年の課程 一般選抜及び早期卒業生選抜

| 群番号 1 数学群 | |
|----------------|--|
| 口述試験 | <p>2月4日（土） 開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学における卒業研究（予定）の内容又は主として研究した数学の分野について 15 分程度で発表する（PC プロジェクター使用可）。</p> <p>希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>以下の書類各 5 部を当日持参すること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語による発表内容の概要（A4 版用紙 1 ページ程度） ・英語による発表内容の概要（A4 版用紙 1 ページ程度） ・入学後に希望する研究テーマの概要（日本語で A4 版用紙 1 ページ程度） |
| 群番号 5 言語・メディア群 | |
| 筆答試験 ※ | <p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去 2 年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report（受験者用控えスコア票）であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate（公式認定証）である。TOEFL®Test Institutional Score Report（公式スコア票）を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること（送付のための本研究科 DI コードは 2149）。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日（土）又は5日（日） 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容、卒業論文・研究論文の内容および入学後の研究計画について 30 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）、25 分程度で試問する。研究計画は、以下の専門分野に関するものとする。</p> <p style="padding-left: 2em;">言語系: 統語論・形態論、意味論、歴史言語学、社会言語学、心理言語学</p> <p style="padding-left: 2em;">メディア系: 文学理論・批評理論、メディア論、文化研究、教育工学、情報リテラシー論</p> <p>なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図表等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。</p> |
| 群番号 6 心理・哲学群 | |
| 筆答試験 ※ | <p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去 2 年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report（受験者用控えスコア票）であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate（公式認定証）である。TOEFL®Test Institutional Score Report（公式スコア票）を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること（送付のための本研究科 DI コードは 2149）。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> |
| | <p>専門科目 2月4日（土）10:00～13:00</p> <p>心理学（感覚・知覚、認知、学習・記憶、パーソナリティ、心理統計）、哲学（哲学史）に関する 12 題の中から 4 題選択。</p> <p>ただし、心理群（認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学）、哲学群（人間情報哲学、論理分析学）のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から少なくとも 3 問を選択すること。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日（土）又は5日（日） 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）について 20 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図表等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。</p> |

【日程 I】

令和5年4月

前期2年の課程 一般選抜及び早期卒業生選抜

| 群番号7 社会科学群 | |
|-------------------|--|
| 筆答試験 ※ | <p>英 語</p> <p>入学試験初日から原則過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> <hr/> <p>専門科目 2月4日(土) 10:00~13:00</p> <p>以下のうち、1つの学系を選択</p> <p>社会学系: 社会学理論、地域社会学、市民社会論、社会調査法を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>政治学系: 現代政治論、政治学方法論、比較政治学、政治意識論を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>経済学系: ミクロ経済学、応用経済学、統計学、経済数学を範囲とする4問題から2問題選択 必要に応じて電卓を出題者が用意する。</p> <p>※受験する学系(社会学系、政治学系、あるいは経済学系)を願書の専門試験科目群名(社会科学群)と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日(土)又は5日(日) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。</p> |

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

ただし、5,6,7群については、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に必ず提出してください。

【日程 I】

令和5年4月

前期2年の課程 外国人留学生等選抜

| 群番号1 数学群 | |
|----------|--|
| 口述試験 | <p>2月4日(土) 開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学における卒業研究(予定)の内容又は主として研究した数学の分野について15分程度で発表する(PCプロジェクター使用可)。</p> <p>希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>以下の書類各5部を当日持参すること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語による発表内容の概要(A4版用紙1ページ程度) ・入学後に希望する研究テーマの概要(日本語又は英語でA4版用紙1ページ程度) |

| 群番号5 言語・メディア群 | |
|---------------|---|
| 筆答試験 ※ | <p>英語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFL®Testの場合はTest Taker Score Report(受験者用控えスコア票)であり、TOEIC®Testの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL®Test Institutional Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日(土)又は5日(日) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容、卒業論文・研究論文の内容および入学後の研究計画について30分程度で発表する(PCプロジェクター使用可)、25分程度で試問する。研究計画は、以下の専門分野に関するものとする。</p> <p>言語系:統語論・形態論、意味論、歴史言語学、社会言語学、心理言語学</p> <p>メディア系:文学理論・批評理論、メディア論、文化研究、教育学、情報リテラシー論</p> <p>なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図表等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。</p> |

| 群番号6 心理・哲学群 | |
|-------------|---|
| 筆答試験 ※ | <p>英語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験したTOEFL®Test又はTOEIC®Testのスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとはTOEFL®Testの場合はTest Taker Score Report(受験者用控えスコア票)であり、TOEIC®Testの場合はOfficial Score Certificate(公式認定証)である。TOEFL®Test Institutional Score Report(公式スコア票)を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国ETSから本研究科に到着するよう各自手配すること(送付のための本研究科DIコードは2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> |
| | <p>専門科目 2月4日(土) 10:00~13:00</p> <p>心理学(感覚・知覚、認知、学習・記憶、パーソナリティ、心理統計)、哲学(哲学史)に関する12題の中から3題選択。</p> <p>ただし、心理群(認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学)、哲学群(人間情報哲学、論理分析学)のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から選択すること。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日(土)又は5日(日) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図表をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。</p> |

【日程 I】

令和5年4月

前期2年の課程 外国人留学生等選抜

| 群番号7 社会科学群 | |
|------------|--|
| 筆答試験 ※ | <p>英 語</p> <p>入学試験初日から原則過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> <p>専門科目 2月4日(土) 10:00~13:00</p> <p>以下のうち、1つの学系を選択</p> <p>社会学系：社会学理論、地域社会学、市民社会論、社会調査法を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>政治学系：現代政治学、政治学方法論、比較政治学、政治意識論を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>経済学系：ミクロ経済学、応用経済学、統計学、経済数学を範囲とする4問題から2問題選択</p> <p>英語で解答することもできる。必要に応じて電卓を出題者が用意する。</p> <p>※受験する学系(社会学系、政治学系、あるいは経済学系)を願書の専門試験科目群名(社会科学群)と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日(土)又は5日(日) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について20分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。10分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。発表は英語で行うこともできる。</p> |

- ※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。ただし、5,6,7群については、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に必ず提出してください。

【日程 I】
 令和 5 年 4 月
 前期 2 年の課程 社会人選抜

| 群番号 1 数学群 | |
|-----------|--|
| 口述試験 | <p>2月4日(土) 開始時刻については別途連絡する。</p> <p>勤務先において又は個人で主として研究した数学の分野について 20 分程度で発表する (PC プロジェクター使用可)。</p> <p>希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。</p> <p>以下の書類各 5 部を当日持参すること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語による発表内容の概要 (A4 版用紙 1 ページ程度) ・英語による発表内容の概要 (A4 版用紙 1 ページ程度) ・入学後に希望する研究テーマの概要 (日本語で A4 版用紙 1 ページ程度) <p>ただし、日本語を母語としないものは、日本語による発表内容の概要は必要ない。</p> |

| 群番号 5 言語・メディア群 | |
|----------------|--|
| 口述試験 | <p>2月4日(土)又は5日(日) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学・勤務先における研究(業務)内容および今後の研究計画について 30 分程度で発表する (PC プロジェクター使用可)、25 分程度で試問する。研究計画は、以下の専門分野に関するものとする。</p> <p>言語系:統語論・形態論、意味論、歴史言語学、社会言語学、心理言語学 メディア系:文学理論・批評理論、メディア論、文化研究、教育工学、情報リテラシー論</p> <p>なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図表等を A4 判用紙に記載したもの)を、当日 5 部持参すること。</p> |

| 群番号 6 心理・哲学群 | |
|--------------|--|
| 小論文 | <p>2月4日(土) 10:00~11:30</p> <p>テーマは当日提示する。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日(土)又は5日(日) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>勤務先における研究(業務)内容及び入学後の研究計画を 20 分程度で発表 (PC プロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図表等を A4 判用紙に記載したもの)を、当日 5 部持参すること。</p> |

| 群番号 7 社会科学群 | |
|-------------|--|
| 小論文 | <p>2月4日(土) 10:00~13:00</p> <p>試験時に指示される課題から 1 題を選択し小論文を作成すること。</p> <p>社会学・政治学・経済学の範囲から希望研究分野に関連した課題が出題される。</p> |
| 口述試験 | <p>2月4日(土)又は5日(日) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>勤務先における研究(業務)内容を 20 分程度で発表 (PC プロジェクター使用可)。10 分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨・図表等を A4 判用紙に記載したもの)を、当日 5 部持参すること。</p> |

専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容

【日程Ⅱ】：令和5年2月28日（火）～3月2日（木）

【日程Ⅱ】
令和5年4月
前期2年の課程 一般選抜

| 群番号2 情報・生命系群 | |
|------------------|--|
| 筆答試験 ※ | <p>英 語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report（受験者用控えスコア票）であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate（公式認定証）である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report（公式スコア票）を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること（送付のための本研究科 DI コードは 2149）。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> |
| | <p>基礎科目 2月28日（火） 9：40～10：40（集合時間 9：00）</p> <p>物理・情報系：電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系：分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の5題から2題選択</p> |
| | <p>専門科目 3月1日（水） 9：40～10：40（集合時間 9：00）</p> <p>物理・情報系：電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、計算機2、物理専門の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系：分子生物学専門、一般生理学専門、神経内分泌学専門、病態生理学専門、健康科学専門の5題から2題選択</p> |
| | <p>注1）受験する系（物理・情報あるいは医学・生物）を願書の専門試験科目群名（情報・生命系群）とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当（TEL:022-795-7185）に照会するか、あるいは http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ のウェブサイトを確認すること。</p> <p>注2）上記の2群筆答試験を受験できる者は、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表-1（2群）の括弧書きでない研究室への配属を第1希望とする志願者。 ○2群以外の研究室への配属を第1希望とし、5. 選抜方法 1）に記載の受験方法(1)による受験を希望する志願者。ただし、口述試験は第1希望の研究室の群で受験すること。 <p>注3）表-1（2群）の括弧書き研究室については、5. 選抜方法 1）に記載の受験方法(1)及び(2)による受験のみが認められている。</p> |
| 口述試験 | <p>3月1日（水）又は2日（木） 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>（成績証明書の内容によって口述試験を免除することがある）</p> <p>卒業論文（作成中のもも含む）の内容、入学後の研究希望等について10分程度で発表。（入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要）</p> |
| | <p>注4）上記の口述試験の対象となる者は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表-1（2群）の括弧書きの研究室への配属を第1希望とし、5. 選抜方法 1）に記載の受験方法(1)又は(2)による受験を希望する志願者 ○表-1（2群）の括弧書きでない研究室への配属を第1希望とする志願者 |

【日程Ⅱ】

令和5年4月

前期2年の課程 一般選抜

| 群番号3 機械・知能系群 | |
|--------------|---|
| 筆答試験 ※ | 英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートの原本を提出できない場合は、出願を受理しない。(ただし、願書受付期間後に提出できる回の TOEIC 公開テストのスコアシートを提出する場合は除く。その場合でも、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。) |
| | 数 学 A 2月28日(火) 9:30~10:30 (集合時間 8:50) 微積分、線形代数、ベクトル解析 |
| | 数 学 B 2月28日(火) 13:00~14:00 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換 |
| | 専門科目 2月28日(火) 15:45~16:45 (下記5科目から2科目選択。) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学 |
| | 注意: オンライン試験となる可能性が高いためインターネット環境を確保し、パソコン、WEB カメラ及びカメラ機能付きスマートフォン(またはスキャナー)を用意してください。 オンライン試験か現地試験かは受験票発送時(2月上旬)にお知らせします。 3月1日(水)は数学及び専門科目試験の予備日です。 |
| 口述試験 | 3月2日(木) 集合時間は別途連絡する(筆答試験の結果により口述試験を行わない場合がある)。 卒業研究(予定)の内容、入学後の研究希望等について試問する。 (入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要) |

| 群番号4 土木工学群 | |
|------------|---|
| 筆答試験 ※ | 英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。 |
| | 小 論 文 2月28日(火) 9:30~11:00 土木工学関連のテーマ |
| | 基礎科目 2月28日(火) 13:00~14:00 以下の4問から2問を選択すること。 微分積分1問、線形代数1問、確率統計1問、生物・生態学1問 |
| | 専門科目 2月28日(火) 15:00~16:00 以下の3科目(社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学)から1科目を選択し、選択した科目内の2問を選択すること。 社会基盤デザイン学: 構造工学(1問)、コンクリート工学(1問)、地盤工学(1問) 水環境デザイン学: 水理学(1問)、河川工学(1問)、水質工学(1問)、環境計画(1問) 都市システム計画学: 計画数理(1問)、交通計画(1問)、交通工学(1問) |
| | 備 考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲等は、以下のWebサイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html |
| 口述試験 | 2月28日(火)又は3月1日(水): 試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものを含む)の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。(入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要) |

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

ただし、2,3,4群とも、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に必ず提出してください。

【日程Ⅱ】

令和5年4月

前期2年の課程 早期卒業生選抜

| 群番号2 情報・生命系群 | |
|--------------|--|
| 筆答試験 | 英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。 |
| | 基礎科目 2月28日(火) 9:40~10:40 (集合時間 9:00) 物理・情報系: 電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択 医学・生物系: 分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の5題から2題選択 |
| | 専門科目 3月1日(水) 9:40~10:40 (集合時間 9:00) 物理・情報系: 電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、計算機2、物理専門の6題から2題選択 医学・生物系: 分子生物学専門、一般生理学専門、神経内分泌学専門、病態生理学専門、健康科学専門の5題から2題選択 |
| | 注1) 受験する系(物理・情報あるいは医学・生物)を願書の専門試験科目群名(情報・生命系群)とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当(TEL:022-795-7185)に照会するか、あるいは http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ のウェブサイトを確認すること。 注2) 成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。 |
| 口述試験 | 3月1日(水)又は3月2日(木) 実施日、開始時刻については別途連絡する。 (成績証明書の内容によって口述試験を免除することがある) 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。 資料を5部持参のこと。 |

| 群番号3 機械・知能系群 | |
|--------------|---|
| 筆答試験 | 英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートの原本を提出できない場合は、出願を受理しない。(ただし、願書受付期間後に提出できる回の TOEIC 公開テストのスコアシートを提出する場合は除く。その場合でも、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。) |
| | 数 学 A 2月28日(火) 9:30~10:30 (集合時間 8:50) (微積分、線形代数、ベクトル解析) |
| | 数 学 B 2月28日(火) 13:00~14:00 (常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換) |
| | 専門科目 2月28日(火) 15:45~16:45 (下記5科目から2科目選択。) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学 |
| | 注意: 成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。 オンライン試験となる可能性が高いためインターネット環境を確保し、パソコン、WEB カメラ及びカメラ機能付きスマートフォン(またはスキャナー)を用意してください。 オンライン試験か現地試験かは受験票発送時(2月上旬)にお知らせします。 3月1日(水)は数学及び専門科目試験の予備日です。 |
| 口述試験 | 3月2日(木) 集合時間は別途連絡する(筆答試験の結果により口述試験を行わない場合がある)。 卒業研究(予定)の内容、入学後の研究希望等について試問する。 (入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要) |

【日程Ⅱ】

令和5年4月

前期2年の課程 早期卒業生選抜

| 群番号4 土木工学群 | |
|------------|---|
| 筆答試験 | 英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。 |
| | 小論文 2月28日(火) 9:30~11:00 土木工学関連のテーマ |
| | 基礎科目 2月28日(火) 13:00~14:00 以下の4問から2問を選択すること。 微分積分1問、線形代数1問、確率統計1問、生物・生態学1問 |
| | 専門科目 2月28日(火) 15:00~16:00 以下の3科目(社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学)から1科目を選択し、選択した科目内の2問を選択すること。 社会基盤デザイン学: 構造工学(1問)、コンクリート工学(1問)、地盤工学(1問) 水環境デザイン学: 水理学(1問)、河川工学(1問)、水質工学(1問)、環境計画(1問) 都市システム計画学: 計画数理(1問)、交通計画(1問)、交通工学(1問) |
| | 備 考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲等は、以下のWebサイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html |
| 口述試験 | 2月28日(火)又は3月1日(水): 試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものを含む)の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。(入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要) |

※ 2, 3, 4群とも、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に必ず提出してください。

【日程Ⅱ】

令和5年4月

前期2年の課程 外国人留学生等選抜

| 群番号2 情報・生命系群 | |
|--------------|--|
| 筆答試験 ※ | <p>基礎科目 2月28日(火) 9:40~10:40 (集合時間 9:00)</p> <p>物理・情報系：電磁気学、電気回路、情報基礎1、情報基礎2、物理基礎、数学基礎の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系：分子生物学基礎、一般生理学基礎、神経内分泌学基礎、病態生理学基礎、健康科学基礎の5題から2題選択</p> |
| | <p>英語</p> <p>入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。</p> |
| | <p>専門科目 3月1日(水) 9:40~10:40 (集合時間 9:00)</p> <p>物理・情報系：電気工学、通信工学、電子工学、計算機1、計算機2、物理専門の6題から2題選択</p> <p>医学・生物系：分子生物学専門、一般生理学専門、神経内分泌学専門、病態生理学専門、健康科学専門の5題から2題選択</p> |
| | <p>注) 受験する系 (物理・情報あるいは医学・生物) を願書の専門試験科目群名 (情報・生命系群) と併せて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当 (TEL:022-795-7185) に照会するか、あるいは http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ のウェブサイトを確認すること。</p> |
| 口述試験 | <p>3月1日(水) 又は 2日(木) 実施日、開始時刻については別途連絡する。</p> <p>出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文 (現在作成中のものも含む) 及び入学後の研究希望等について 10 分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料 (A4 判用紙に記載したもの) を、当日5部持参すること。(本学出身の外国人留学生については上記の発表を免除することがある)</p> |

【日程Ⅱ】

令和5年4月

前期2年の課程 外国人留学生等選抜

| 群番号3 機械・知能系群 | |
|--------------|---|
| 筆答試験 ※ | 英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日までに情報科学研究科教務係へ個別に問合せること。スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートの原本を提出できない場合は、出願を受理しない。(ただし、願書受付期間後に提出できる回の TOEIC 公開テストのスコアシートを提出する場合は除く。その場合でも、指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。) スコアシートにおける Test Date スコアが基準 (TOEFL-PBT 550 点、TOEFL-iBT 79 点または TOEIC 730 点) に満たない場合は「不合格」とする。 |
| | 数 学 A 2月28日(火) 9:30~10:30 (集合時間 8:50) 微積分、線形代数、ベクトル解析 |
| | 数 学 B 2月28日(火) 13:00~14:00 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換 |
| | 専門科目 2月28日(火) 15:45~16:45 (下記5科目から2科目選択。) 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学 |
| | 注意: オンライン試験となる可能性が高いためインターネット環境を確保し、パソコン、WEB カメラ及びカメラ機能付きスマートフォン(またはスキャナー)を用意してください。 オンライン試験か現地試験かは受験票発送時(2月上旬)にお知らせします。 3月1日(水)は数学及び専門科目試験の予備日です。 |
| 口述試験 | 3月2日(木) 集合時間は別途連絡する(筆答試験の結果により口述試験を行わない場合がある)。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)について10分程度で発表(PCプロジェクター使用可) なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日13部持参すること。ただし、本学出身の外国人留学生については、上記の発表は不要であるが、卒業研究(予定)の内容、入学後の研究希望等について試問する。 |

| 群番号4 土木工学群 | |
|------------|---|
| 筆答試験 ※ | 英 語 入学試験初日から過去2年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) であり、TOEIC®Test の場合は Official Score Certificate (公式認定証) である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。TOEFL®Test Institutional Score Report (公式スコア票) を送付する場合は、願書受付期間最終日までに、米国 ETS から本研究科に到着するよう各自手配すること (送付のための本研究科 DI コードは 2149)。 |
| | 基礎科目 2月28日(火) 13:00~14:00 以下の4問から2問を選択すること。 微積分1問、線形代数1問、確率統計1問、生物・生態学1問 |
| | 専門科目 2月28日(火) 15:00~16:00 以下の3科目(社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学)から1科目を選択し、選択した科目内の2問を選択すること。 社会基盤デザイン学: 構造工学(1問)、コンクリート工学(1問)、地盤工学(1問) 水環境デザイン学: 水理学(1問)、河川工学(1問)、水質工学(1問)、環境計画(1問) 都市システム計画学: 計画数理(1問)、交通計画(1問)、交通工学(1問) |
| | 備 考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能のある時計の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html |
| 口述試験 | 2月28日(火)又は3月1日(水): 試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文(現在作成中のものも含む)の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。また、日本語能力についても判定する。 |

※ 各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

ただし、2,3,4群とも、TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートの原本を出願時に必ず提出してください。

【日程Ⅱ】
 令和5年4月
 前期2年の課程 社会人選抜

| 群番号2 情報・生命系群 | |
|--------------|--|
| 口述試験 | 3月1日(水)又は2日(木) 試験日時については別途連絡する。 これまでの研究(業務)の内容及び入学後の研究希望等について10分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日5部持参すること。 |

| 群番号3 機械・知能系群 | |
|--------------|--|
| 筆答試験 | <p>数学A、数学B及び専門5科目の計7科目から2科目を選択(あらかじめ申告すること) 専門科目の筆答試験終了時刻は、選択する科目により異なる。</p> <p>数 学 A 2月28日(火) 9:30~10:30 (集合時間 8:50) 微積分、線形代数、ベクトル解析</p> <p>数 学 B 2月28日(火) 13:00~14:00 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換</p> <p>専門科目 2月28日(火) 15:45~16:45 熱力学、流体力学、材料力学、機械力学、制御工学</p> <p>注意: オンライン試験となる可能性が高いためインターネット環境を確保し、パソコン、WEBカメラ及びカメラ機能付きスマートフォン(またはスキャナー)を用意してください。 オンライン試験か現地試験かは受験票発送時(2月上旬)にお知らせします。 3月1日(水)は数学及び専門科目試験の予備日です。</p> |
| 口述試験 | 3月2日(木) 集合時間は別途連絡する(筆答試験の結果により口述試験を行わない場合がある)。 これまでの研究内容及び入学後の研究希望等について10分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日13部持参すること。英語の能力を問う場合もある。 |

| 群番号4 土木工学群 | |
|------------|---|
| 小論文 | 2月28日(火) 9:30~11:00 土木工学関連のテーマ |
| 口述試験 | 2月28日(火)又は3月1日(水) 試験日時については別途連絡する。 勤務先における研究・業務の内容を10分程度で発表(PCプロジェクター使用可)。発表の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。なお、発表する内容に関する資料(発表要旨、図面等をA4判用紙に記載したもの)を、当日8部持参すること。 |

令和5年度 東北大学大学院情報科学研究科「研究室（分野）一覧」

【令和4年11月1日現在】

○各研究室（分野）の研究内容等は本研究科ウェブサイト（<https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/>）を参照してください。

| 群番号 | 名称 | 講座名 | 研究室（分野）名 | 研究室番号 | 教員名 | 専攻 |
|-----------|-------------|--------------|----------------------|-----------|--|------------|
| 1 | 数 学 群 | 情報基礎数理学講座 | 情報基礎数理学Ⅰ | A01-1 | 教授 宗政 昭弘 | 情報基礎科学専攻 |
| | | | | A01-2 | 准教授 島倉 裕樹 | |
| | | | 情報基礎数理学Ⅱ | A02-1 | 教授 須川 敏幸 | |
| | | | | A02-2 | 准教授 田中 太初 | |
| | | | 情報基礎数理学Ⅲ | A03 | 教授 村上 斉* | |
| | 情報基礎数理学Ⅳ | A04 | 教授 瀬野 裕美 | | | |
| | システム情報数理学講座 | システム情報数理学Ⅰ | B01-1 | 教授 原田 昌晃 | システム情報科学専攻 | |
| | | | B01-2 | 准教授 船野 敬 | | |
| | | システム情報数理学Ⅱ | B02-1 | (未定) | | |
| | | | B02-2 | 准教授 福泉 麗佳 | | |
| 統計数理学 | B03 | 教授 荒木由布子 | | | | |
| 2 | 情報・生命系群 | 情報応用数理学講座 | 数理情報学 | A05 | 教授 大関 真之 | 情報基礎科学専攻 |
| | | 計算科学講座 | 計算理論 | A07 | (未定) | |
| | | | 計算機構論 | A08 | 教授 青木 孝文 准教授 伊藤 康一 | |
| | | | 知能集積システム学 | A09 | 教授 張山 昌論 准教授 Waidyasooriya Hasitha Muthumala | |
| | | ソフトウェア科学講座 | ファームウェア科学 | A10 | (未定) | |
| | | | ソフトウェア基礎科学 | A11 | 教授 住井英二郎 准教授 松田 一孝 | |
| | | 情報論理学講座 | 情報論理学 | A13 | 教授 中野 圭介 | |
| | | コミュニケーション論講座 | コミュニケーション論 | A14 | 教授 長谷川 剛 | |
| | | 情報セキュリティ論講座 | 情報セキュリティ論 | A16 | 准教授 酒井 正夫 准教授 磯邊 秀司 | |
| | | 広域情報処理論講座 | 広域情報処理論 | A17 | (未定) | |
| | | データ基礎情報学講座 | データ基礎情報学 | A18 | 教授 早川 美德 准教授 三石 大 | |
| | | 知能情報科学講座 | アルゴリズム論 | B04 | 教授 周 暁 准教授 鈴木 顕 | システム情報科学専攻 |
| | | | 知能システム科学 | B05 | 教授 篠原 歩 准教授 吉仲 亮 | |
| | | | 自然言語処理学 | B06 | 教授 乾 健太郎 准教授 坂口 慶祐 | |
| | | 生体システム情報学講座 | 情報生物学 | B07 | 教授 大林 武 | |
| 情報システム評価学 | B08 | | 教授 伊藤 健洋 准教授 全 眞嬉 | | | |
| 音情報科学講座 | 音情報科学 | B11 | 教授 坂本 修一 | | | |

| 群番号 | 名称 | 講座名 | 研究室(分野)名 | 研究室番号 | 教員名 | 専攻 | |
|-------------|------------|------------------|----------------|----------|---|------------|----------|
| 2 | 情報・生命系群 | 高次視覚情報学講座 | 高次視覚情報学 | B12 | 教授 塩入 諭* 准教授 Chia - Huei Tseng | システム情報科学専攻 | |
| | | 情報コンテンツ学講座 | 情報コンテンツ学 | B13 | 教授 北村 喜文 准教授 高嶋 和毅 | | |
| | | ソフトウェア構成論講座 | ソフトウェア構成論 | B15 | (未定) | | |
| | | 人工知能基礎学講座 | 人工知能基礎学 | B16 | 教授 鈴木 潤 | | |
| | | 応用情報技術論講座 | 物理フラクチュオマティクス論 | D01 | 教授 田中 和之 | 応用情報科学専攻 | |
| | | | 情報通信技術論 | D02 | 教授 加藤 寧 准教授 川本 雄一 | | |
| | | 応用生命情報学講座 | 生命情報システム科学 | D04 | 教授 木下 賢吾 准教授 西 羽美 | | |
| | | | バイオモデリング論 | D05 | (未定) | | |
| | | 情報通信ソフトウェア学講座 | 情報通信ソフトウェア学 | D07 | 准教授 阿部 亨 | | |
| | | 情報ネットワーク論講座 | 情報ネットワーク論 | D08-1 | 教授 菅沼 拓夫 准教授 水木 敬明 | | |
| | | | | D08-2 | 准教授 後藤 英昭 | | |
| | | ブレインファンクション集積学講座 | ブレインファンクション集積学 | D10 | 教授 堀尾 喜彦** | | |
| | | 健康情報学講座 | 健康情報学 | D11 | 教授 木内 喜孝** 教授 伊藤 千裕 准教授 小川 晋 准教授 佐藤 公雄 | | |
| | | 複雑系統計科学講座 | 複雑系統計科学 | D12 | 客員教授 吉本 敦 客員准教授 三分一史和 客員准教授 小山 慎介 | | |
| 3 | 機械・知能系群 | 情報応用数理学講座 | 計算数理科学 | A06-1 | 教授 山本 悟 | | 情報基礎科学専攻 |
| | | | | A06-2 | 准教授 古澤 卓 | | |
| | | ソフトウェア科学講座 | アーキテクチャ学 | A12-1 | 教授 小林 広明 | | |
| | | | | A12-2 | 准教授 佐藤 雅之 | | |
| | | 高性能計算論講座 | 高性能計算論 | A15-1 | 教授 滝沢 寛之 | | |
| | | | | A15-2 | (未定) | | |
| | | 先進的計算システム論講座 | 先進的計算システム論 | A19-1 | 客員教授 佐野健太郎 | | |
| | | | | A19-2 | 客員教授 佐藤 三久 | | |
| | | 知能ロボティクス学講座 | イメージ解析学 | B09 | 教授 岡谷 貴之 | システム情報科学専攻 | |
| | | | 知能制御システム学 | B10-1 | 教授 橋本 浩一 | | |
| | | B10-2 | | 准教授 鏡 慎吾 | | | |
| | | 融合流体情報学講座 | 融合流体情報学 | B14 | 教授 石本 淳 | 応用情報科学専攻 | |
| | | 応用情報技術論講座 | 人間-ロボット情報学 | D03-1 | 教授 田所 諭** | | |
| | | | | D03-2 | 准教授 昆陽 雅司 | | |
| D03-3 | 准教授 多田隈建二郎 | | | | | | |
| 流動システム情報学講座 | 流動システム情報学 | D09-1 | 教授 服部 裕司 | | | | |
| | | D09-2 | 准教授 廣田 真 | | | | |

| 群番号 | 名称 | 講座名 | 研究室(分野)名 | 研究室番号 | 教員名 | 専攻 |
|-----|----------|----------------|--------------|-------|-----------------------|------------|
| 4 | 土木工学群 | 人間社会計画学講座 | 空間計画科学 | C11-1 | 教授 井料 隆雅 | 人間社会情報科学専攻 |
| | | | | C11-2 | 准教授 井上 亮 | |
| | | | 社会システム計画学 | C12-1 | 教授 河野 達仁 | |
| | | | | C12-2 | 准教授 福本 潤也 | |
| | | | 交通制御学 | C13-1 | 教授 赤松 隆 | |
| | | | | C13-2 | 准教授 原 祐輔 | |
| 5 | 言語・メディア群 | 人間情報学講座 | 言語情報学 | C01 | (未定) | 人間社会情報科学専攻 |
| | | | 言語テキスト解析論 | C06 | 教授 小川 芳樹 | |
| | | メディア情報学講座 | メディア文化論 | C14 | 准教授 森田 直子 講師 坂田 邦子 | |
| | | | 情報リテラシー論 | C15 | 教授 堀田 龍也 准教授 長濱 澄 | |
| 6 | 心理・哲学群 | 人間情報学講座 | 学習心理情報学 | C02 | 准教授 細田 千尋 | 人間社会情報科学専攻 |
| | | | 認知心理情報学 | C03 | 教授 松宮 一道 准教授 和田 裕一 | |
| | | | 人間情報哲学 | C04 | 教授 森 一郎 | |
| | | | 論理分析学 | C05 | (未定) | |
| | | コミュニケーション心理学講座 | コミュニケーション心理学 | C16 | 教授 邑本 俊亮 | |
| | | 応用生命情報学講座 | 認知情報学 | D06 | 教授 松宮 一道 | 応用情報科学専攻 |
| 7 | 社会科学群 | 社会政治情報学講座 | 社会構造変動論 | C07 | 教授 徳川 直人 准教授 岡田 彩 | 人間社会情報科学専攻 |
| | | | 政治情報学 | C08 | 准教授 河村 和徳 | |
| | | 社会経済情報学講座 | 都市社会経済システム分析 | C09 | 教授 曾 道智 准教授 伊藤 亮 | |
| | | | 地域計量システム分析 | C10 | 准教授 藤原 直哉 | |

*印の教員は、令和6年3月退職予定です。

**印の教員は、令和7年3月退職予定です。